

館林・明和・千代田地区の洪水に関する住民意識調査 調査結果のご報告(概要)

■市民のみなさまへ

このたびは、「館林・明和・千代田地区の洪水に関する住民意識調査」にご回答いただき、ありがとうございました。

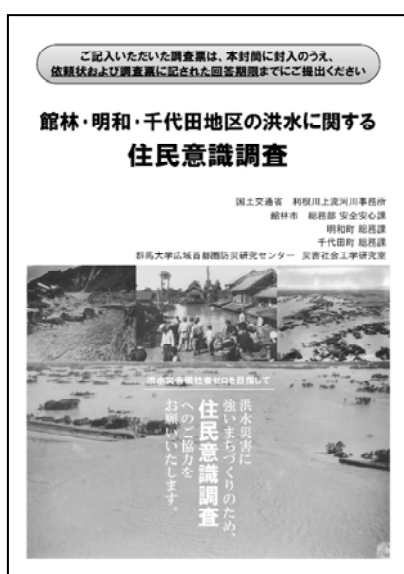
本調査は、市民のみなさまが、とりわけ利根川や渡良瀬川といった大河川で将来発生するかもしれない洪水災害に備えることについて、日頃からどのような意識をお持ちで、いざというときはどのように行動しようとお考えなのかを把握するために実施したものです。このたび、調査結果がまとまりましたので、主な回答の集計結果についてご報告いたします。

本調査結果を踏まえ、今後は、国土交通省利根川上流河川事務所、群馬大学広域首都圏防災研究センターと協力しながら、具体的な対策を検討して参ります。

特に、洪水によって発生が懸念される被害の予測や、市民の避難行動の観点から、被害を減らすための方策とその効果を、シミュレーションによって分析・検証していく予定です。

“館林市から洪水犠牲者を一人も出さない”ためには、市民のみなさまのご協力が欠かせません。今後の取り組みにつきましても、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

18,000 人を超える方々に、ご回答いただきました。



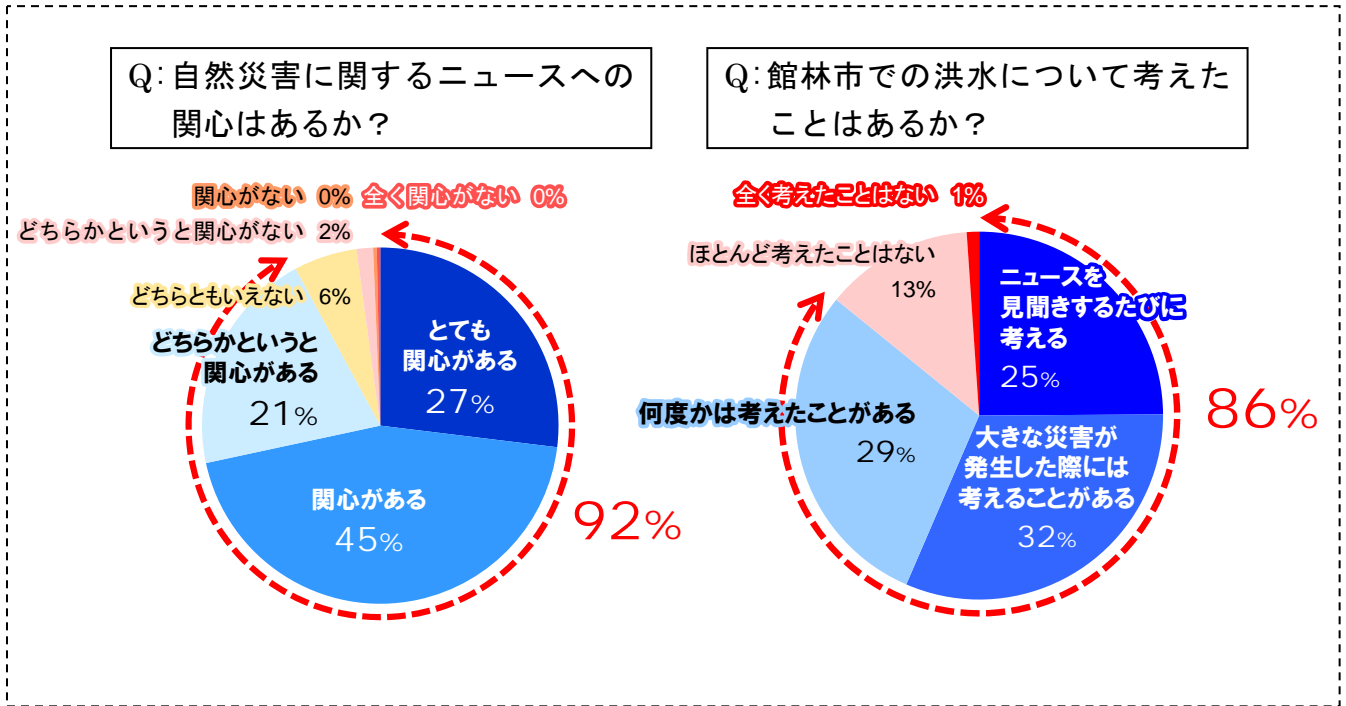
実施期間	平成27年2/1～2/25
対象者	館林市に居住する全世帯
配布方法	自治会・行政区の協力による配布・回収
配布数	27,876票
回収数	18,103票
回収率	64.9%
備考	明和町・千代田町においても同様の調査を実施

館林市役所 安全安心課 危機管理係
電話：0276-72-4111（代表） 内線328・329

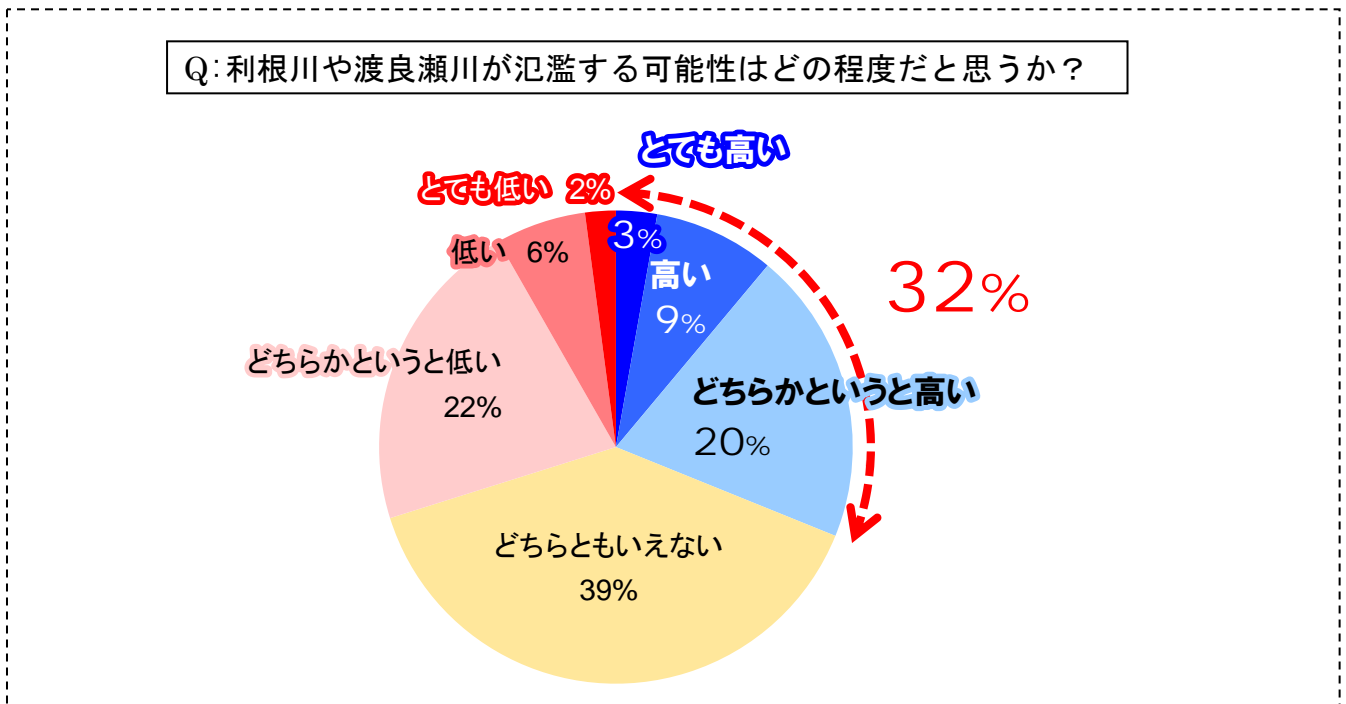
1. 洪水災害に対する“意識”と“備え”

近年、全国各地で大規模な洪水災害や土砂災害が多発しており、特に 3.11 東日本大震災以降、国民の自然災害への関心は大変高まっています。

館林市でも、“**自然災害に関するニュースへの関心がある**”と回答した市民は**9割**を超え、“**館林市での洪水について考えたことがある**”と回答した市民も**約9割**に上っています。

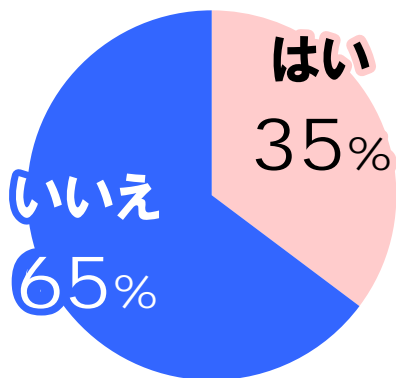


しかし、“**利根川や渡良瀬川が氾濫する可能性が高い**”と考えている市民は**約3割**にとどまっています。

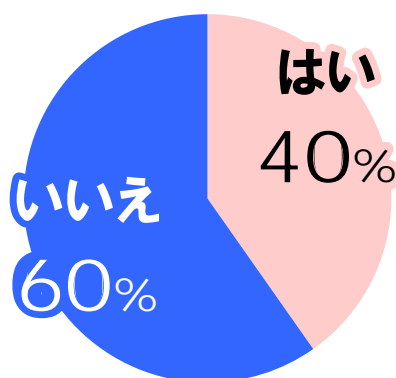


また、『家族での災害時対応の話し合い』『避難場所・避難経路の確認』『非常持ち出し品の準備』『洪水に対応した保険への加入』といった“自宅での備え”についても、実施している市民は概ね2~4割にとどまっています。

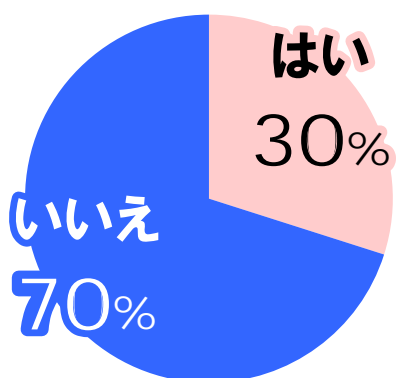
Q: 家族で災害時の対応などについて話し合っている



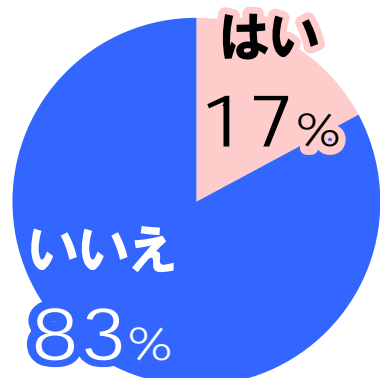
Q: 避難場所・避難経路などを確認している



Q: 非常持ち出し品を準備している



Q: 洪水に対応した保険に加入している



昭和 22 年のカスリン台風災害以降、利根川や渡良瀬川では、堤防やダムなどの治水対策が今日に至るまで継続的に実施されてきました。しかし近年は、**巨大台風の発生が増加傾向**にあることから、**大規模な洪水災害が発生する危険性は今後さらに高まる**と言われています。**利根川や渡良瀬川で洪水災害が発生すれば、館林市にも深刻な被害が及ぶ恐れがある**ことを覚えておきましょう。

また、洪水災害への備えや対応は、いざというときに直面してから急にできるものではありません。**普段からの備えが大切**ですので、**浸水する範囲や浸水時の深さ、洪水時の避難場所**について、**洪水ハザードマップ**で確認しておきましょう。

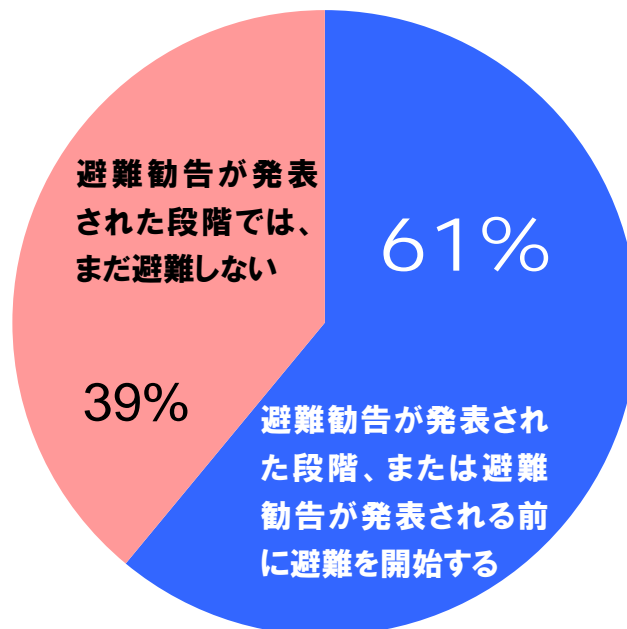
2. 避難対応についての考え

館林市役所では、災害によって市内で被害が発生する恐れが高まった場合には、市民に避難を呼びかける情報を発表することにしていきます（下表参照）。

情報の種類	とるべき避難対応
避難準備情報	・ 避難の準備を開始する ・ 避難に時間がかかる人は、避難を開始する
避難勧告	・ ただちに避難を開始する
避難指示	・ 避難中の人はすみやかに避難を完了させる

しかし、利根川や渡良瀬川で洪水の発生が予想されている事態であっても、“**避難勧告が発表された段階で避難を開始する**”または“**避難勧告が発表されるのを待たずに避難を開始する**”と回答した市民は**約6割**にとどまっています。

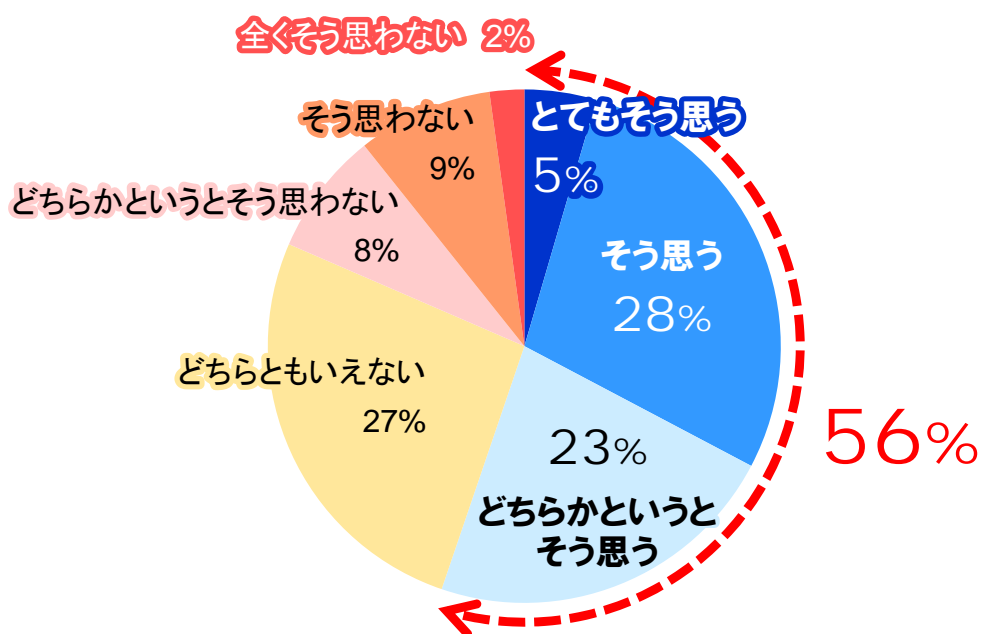
Q:どのタイミングで避難を開始するか？



もし、市役所から「**避難勧告**」が発表された場合には、**命を守ることを最優先に考え、直ちに避難を開始**してください。

また、“市役所が発表する「避難勧告」は、洪水が発生する前には必ず伝わってくる”と考えている市民が約6割に上ることがわかりました。

Q:行政からの避難勧告は、必ず洪水の前に伝わってくると思うか？



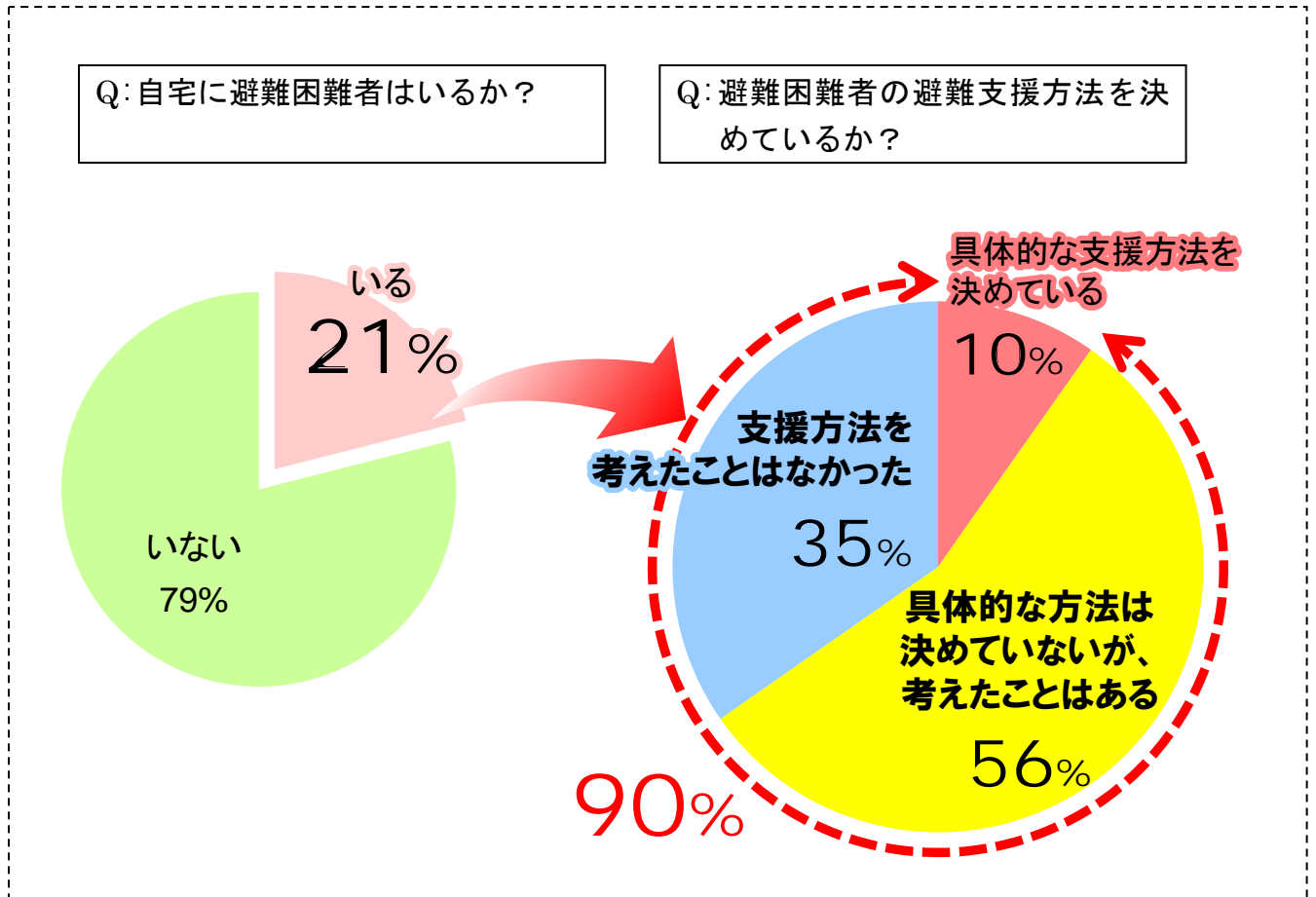
早い段階で避難を開始するほど、より安全に避難することができます。

“市役所が発表する避難勧告は洪水が発生する前には必ず伝わってくるはずであり、避難勧告が発表されてから避難すれば問題ない”と考えるのではなく、避難勧告が発表される前であっても、自宅の周りのようすやテレビ・ラジオからの情報などに注意し、“避難した方がよい”と感じたら迷わずに避難してください。

3. 一人で避難することが困難な方の避難支援

高齢者や障がいをお持ちの方など、災害時に一人で避難することが困難な方を“避難困難者”といいます。“自宅に避難困難者がいる”と回答した世帯は、全体の約2割でした。

しかし、避難困難者がいる世帯のうち、具体的な避難方法を決めている世帯は、約1割にとどまり、約9割の世帯が具体的な避難支援方法を決めていないことがわかりました。



いざ避難をしなければならない状況になって初めて避難困難者の避難支援方法を考えるのでは、間に合いません。

どのタイミングで避難支援を始めるのか、また、その際の避難場所はどこなのかについて、災害が発生していない今のうちから決めておきましょう。4ページに示すとおり、少なくとも、館林市役所が「避難準備情報」を発表した際には、避難支援を開始してください。

そして、避難支援方法は家族全員で共有しておくことが大切です。

(おわり)